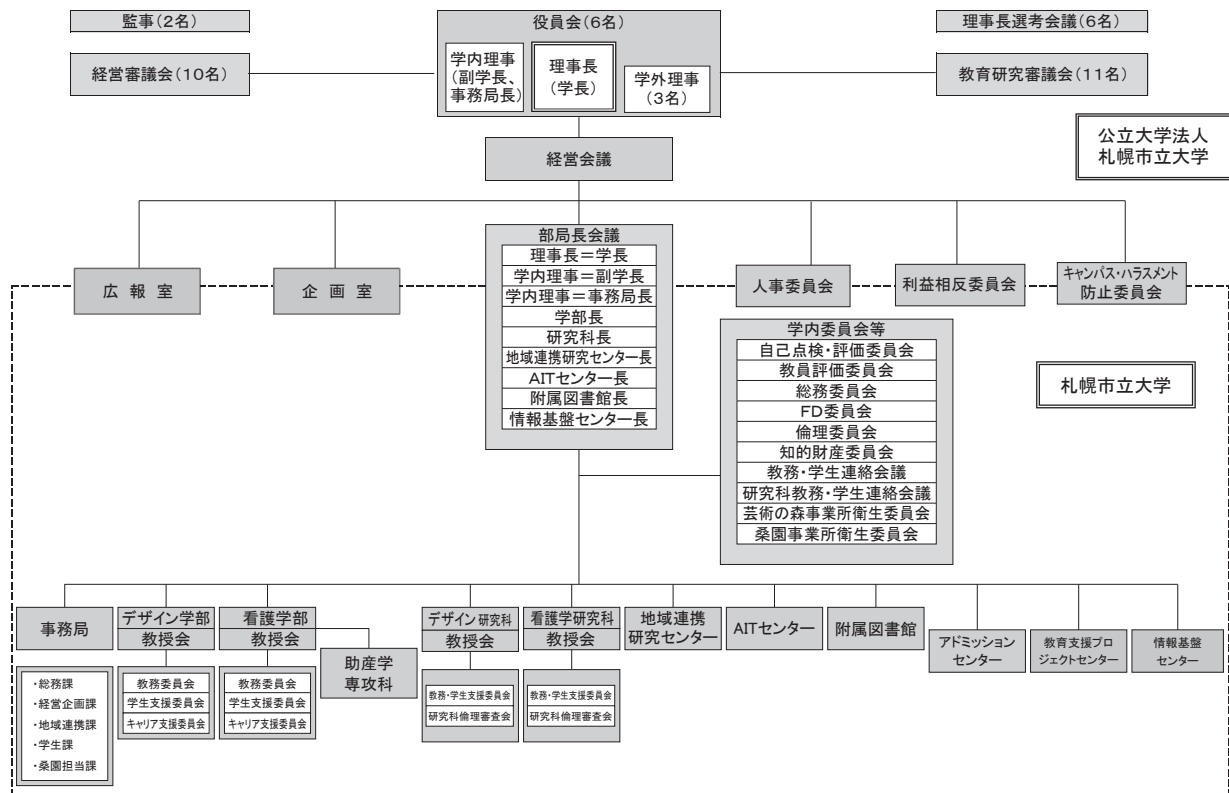




VIII 法人・学内運営の概要

1 2022年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図



2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1) 2021年度決算及び事業報告書 (2) 2021年度計画実績及び第三期中期計画中間評価に係る自己点検・評価結果 (3) 特別休暇の改正	(1) 2021年度計画実績及び第三期中期計画中間評価に係る自己点検・評価結果	(1) 2021年度決算及び事業報告について (2) 2021年度計画実績及び第三期中期計画中間評価に係る自己点検・評価結果
第2回	(1) 2023年度予算編成方針 (2) 理事長選考会議の委員選任 (3) 「公益通報規程」の改正 (4) 「育児休業規程」の改正 (5) 公衆衛生看護学専攻科（仮称）開設時期の前倒し (6) 保健師コース廃止に伴う看護学部カリキュラムの変更承認申請	(1) 2023年度予算編成方針 (2) 理事長選考会議の委員選任 (3) 教員の再任 (4) 「公益通報規程」の改正 (5) 「育児休業規程」の改正 (6) 公衆衛生看護学専攻科（仮称）開設時期の前倒し (7) 保健師コース廃止に伴う看護学部カリキュラムの変更承認申請	(1) 2023年度予算編成方針 (2) 理事長選考会議の委員選任
第3回	(1) 公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の改正について	—	(1) 公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の改正について



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第4回	(1) 2023年度計画及び予算 (2) 認証評価 点検評価ポートフォリオ (3) 職員定年年齢の引き上げ (4) 個人情報取扱事務規程の改正 (5) 契約職員の給与等引上げ改定 (6) 札幌市立大学大学院学則の改正	(1) 2023年度計画及び予算 (2) 認証評価 点検評価ポートフォリオ (3) 個人情報取扱事務規程の改正 (4) 令和7年度以降入学者に係るデザイン学部・看護学部入学者選抜試験の変更 (5) 令和6年度以降入学者に係る看護学部学校推薦型選抜試験の変更 (6) 札幌市立大学大学院学則の改正 (9) デザイン研究科及び看護学研究科 履修等に関する規則の改正	(1) 2023年度計画及び予算 (2) 学則、各種規則及び規程等の改正

3 役員会及び審議会委員名簿（2022年4月1日現在）

1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	松浦 和代	副学長
理事（常勤）	小野 聡	事務局長
理事（非常勤）	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事（非常勤）	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
理事（非常勤）	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	松浦 和代	
理事	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	小野 聡	
学外委員	木村 義広	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	水落 隆志	札幌商工会議所常務理事・事務局長
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究院 教授
学外委員	上田 順子	公益財団法人北海道看護協会会長



3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学 長	中島 秀之	
理 事	松浦 和代	
デザイン学部長	椎野 亜紀夫	
看護学研究科長	菊地 ひろみ	
デザイン研究科長	齊藤 雅也	
附属研究所長	石井 雅博	
附属図書館長	川村 三希子	
事務局 長	小野 聡	
学 外 委 員	前田 弘志	バナナムーン・ステュディオ代表
学 外 委 員	石井 知子	札幌市教育委員会委員
学 外 委 員	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
学 外 委 員	黒宮 裕久	市立札幌平岸高等学校

4 経営会議

2022年度は9回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月6日	(1) 学内会議等実施報告
第2回	5月12日	(1) 学内会議等実施報告
第3回	6月1日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 特別休暇の改正について (3) 2021年度決算について (4) 2021年度計画実績及び第三期中期計画中間評価に係る自己点検・評価結果について
第4回	7月6日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 教育支援プロジェクトセンター所管事業の講師給与の見直しについて (3) 本学の専任教員が院生研究支援費を執行する際の取り扱いについて
第5回	7月25日	(1) 2021事業年度及び第三期中期計画中間実績報告に係るヒアリング回答（案）について
第6回	8月15日	(1) 札幌市地方独立行政法人評価委員会の評価結果（案）に対する意見の有無について
第7回	9月7日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 公衆衛生看護学専攻科（仮称）開設時期の前倒し及び保健師コース廃止に伴う看護学部カリキュラムの変更承認申請について (3) 休暇申請・在宅勤務申請のシステム導入について
第8回	10月5日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 公益通報規程の改正について (3) 育児休業規程の改正について



回数	開催日	議題
第9回	11月2日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 学外ユーザの情報システム一時利用に関する内規の制定等について
第10回	12月7日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 学位論文審査に親族が関わる場合の取り扱いについて
第11回	1月12日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 学位論文審査に親族が関わる場合の取り扱いについて
第12回	2月1日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 成績の標語に対する基準について（両学部・助産学専攻科） (3) 第四期中期計画にかかる新規レベルアップ事業（調書）について
第13回	3月1日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 事務局職員の定年引上げに係る諸規定の改正 (3) 個人情報取扱事務規程の改正 (4) 契約職員の給与引き上げ (5) 公印規則の改正 (6) 情報セキュリティポリシー等の改正について (7) 第四期中期計画にかかる新規レベルアップ事業（調書）について（2次） (8) 2023年度計画（案）について (9) 自己点検・評価結果について (10) 令和7年度以降入学者選抜試験（デザイン学部・看護学部）の変更について (11) 令和6年度以降入学者 看護学部学校推薦型選抜試験の変更 (12) 研究科博士後期課程早期修了制度の新設及び大学院学則の改正について (13) 成績の標語に対する基準について（デザイン研究科・看護学研究科） (14) 自己点検及び評価に関する規則の改正

6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関することについて企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。2022年度の会議の開催数は7回であった。

主な活動として、DNAタスクフォースを設置し、大学の魅力向上のための意見収集を行った。

7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管している。2022年度の会議の開催数は11回であった。2022年度の広報の指針として、「表情が見える広報」をテーマとして広報展開に取り組んだ。

主な活動として、2022年度版大学案内パンフレットの発行及び2023年度版大学案内パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新、リニューアルを行った。リニューアルしたウェブサイトは2023年3月31日に公開した。また、北海道新聞への広告掲載や、学生広報委員会が制作したSCUZINEのセイコーマート配架などを行った。

8 教授会

1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、2022年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。



2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、2022年度に臨時教授会3回を含む15回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても、幅広く審議を行った。

なお、本教授会において、各学内委員会及び学部委員会からの報告も行った。

3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、2022年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、2022年度に臨時教授会4回を含む16回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

9 地域連携研究センター

運営会議（計11回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門の2セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、産学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に関する活動、まこまないキャンパスに係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

<公開講座>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした20コース44コマの講座を、延べ1,025名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として延べ20名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活（ちいき）ゼミナール」を開催。YouTubeで配信し、延べ991名が視聴した。

<地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会を開催するなど、COVID-19の影響を受けながらも、更なるネットワークづくりを図った。

<国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、提携校との交流を推進することを計画していたが、COVID-19の影響により、予定していた交流プログラムを中止または延期し、オンライン国際交流プログラムを行った。また、COVID-19以降初めて、海外の大学と国際共同ワークショップを行い、学生と教員を派遣したほか、学生に広く国際交流の機会を提供するため、英語圏の大学の学生とのオンライン留学体験や、オンラインセミナーを行った。

「学生の国際化」

2021年度に引き続き、台中科技大学とオンライン国際交流プログラムを実施し、看護学部学生12名ならびに教職員3名が参加した。

提携校ではないが、オーストラリアのグリフィス大学やクイーンズランド大学とオンライン留学体験を計3回実施し、医学専攻学生や看護学部学生ならびに人文社会学部学生と、デザイン学部学生延べ6名ならびに看護学部学生延べ5名との交流を行った。



提携校ではないが、フィンランドのトゥルク大学と国際共同ワークショップを開催し、参加のため、デザイン研究科大学院生及びデザイン学部学生4名ならびに教員1名を派遣した。

新たに設けたセミナー型プログラムでは、2021年度に引き続き、経済連携協定で来札したインドネシア人看護師とのオンライン交流会を実施し、看護学部学生5名ならびに教員7名が参加した。また、医療通訳者から見た外国人患者支援に関するオンラインセミナーを実施し、看護学部学生5名ならびに教職員7名が参加した。

「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

華梵大学から、アーティスト インレジデンスの招へいがあり、デザイン学部教員1名を1ヶ月間派遣した。

「提携校との交流の活性化」

台中科技大学との学生交流協定に基づき、特別聴講生1名を引き続き受け入れた。

「海外とのネットワーク化」

フィンランド・トゥルク大学やオーストラリアの大学等との新たな交流を検討した。

<知的財産>

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。特許出願1件を行ったほか、イノベーションジャパンへの知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「北海道地域大学等知的財産部門連絡会議」(1回)に参加し、知的財産戦略に関する情報交換等を行った。

<研究推進>

地域や産業界等から依頼された受託研究9件、共同研究13件、寄附金2件の受入れを行ったほか、前年度に改善した学内競争的研究費(学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金)制度を実施した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

10 AITセンター

AITセンターでは、AIやIT(情報技術)を活用し、地域の課題解決や行政の効率化を目指している。

2022年度の主な活動として、受託研究1件・共同研究8件を受け入れ研究に取り組んだ他、公開講座や学長講演の開講、ビジネスイベントにおける研究シーズの紹介、公式ウェブサイトにおいて札幌市中心部の人流データの定期配信等を行った。

11 附属図書館

2022年度は全10回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館サービス、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、除却、等であった。

SCUジャーナル編集ワーキングでは、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第16巻」を2022年9月に発行した。また、第17巻発行に向けて、投稿論文の査読を開始した。



12 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、2022年度に11回の会議を開催し、新型コロナウイルス感染症対応の検討、前年度の入試結果の分析、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会及び高校訪問等を企画・実施した。

13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に関するプロジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。

14 情報基盤センター

情報基盤センターの2022年度は11回の会議を行い、情報セキュリティポリシーの啓発活動として、情報セキュリティに関するFD研修会の実施及び情報セキュリティに関する自己点検を行った。その他の活動としては、各種システムの見直し・更新、教職員への情報システムに関する情報提供を行った。

また、第四期中期計画策定に向けて、DXに関するワーキンググループを設置し、教職員、学生から情報システムに関する要望を取りまとめ、第四期中期計画案へ反映した。

15 学内委員会

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、2022年度は19回開催した。

2022年度の主な活動として、認証評価に係る点検評価ポートフォリオ（案）や2021年度計画と第三期中期目標期間の終了時に見込まれる業務の実績報告書（案）の作成を行ったほか、2022年度計画について半期の取組状況の進捗管理を行った。

2) 教員評価委員会

2022年度は委員会を5回開催した。各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた記入要領及び申告書様式等の検証を行った。評価結果については、2022年度末に任期満了を迎える教員の再任審査の資料として活用した。

3) 総務委員会

2022年度は委員会を11回（メール会議3回を含む）開催した。昨年に引き続き、学内の防災訓練、夏季及び冬季の節電対策を実施した。

また、学生を対象とした安否確認訓練、2022年度卒業式・修了式、2023年度入学式等の検討を行い実施した。

4) FD委員会

FD委員会は、2022年度に5回開催し、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、他部署からの企画も含め学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を行ったほか、授業評価アンケートの集計結果に対する教員所見のとりまとめを行った。



5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

2022年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計12回開催）。

2012年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っていたが、更に迅速審査を含めて効率化ならびに迅速化を図るため、2020年度から新様式、新審査フローを導入した。

年間の審査申請総数は49件であったが4件の申請取下げならびに差戻しがあり、最終的に承認したのは45件であり、1回当たり平均3.75件の審査を実施した。

審査結果は「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」、「非該当」のいずれかで判定した。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、2011年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

2014年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、2015年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、医師1名を追加で委嘱した（2022年度は、特別審査部門の開催は0回）。

6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、2016年度に設置された。

7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、2022年度に9回開催し、学際教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関すること、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関すること等について審議した。また、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。特に、新型コロナウイルス感染症への対応に関しては両キャンパスの情報共有の場になったとともに、授業実施方針や課外活動に関する方針などの原案を作成し各教授会に諮った。

8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、2022年度に8回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項、学位論文審査に係る事項、院生研究支援費に関する事項及び学生生活に関する事項等について審議した。



16 構成員名簿 (2022年4月18日時点)

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 石井 雅博 高橋 尚人 川村 三希子 大淵 一博 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 地域連携研究センター長 AITセンター長 附属図書館長 情報基盤センター長 事務局長
	企画室	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	広報室	◎若林 尚樹 荒木 奈緒 横溝 賢 金子 晋也 大島 卓 原井 美佳 伊東 健太郎 武富 貴久子 小野 聡	デザイン学部教授 助産学専攻科長 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
	人事委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 高橋 尚人 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 AITセンター長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	利益相反委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	◎石井 雅博 山田 良 卯野木 健 小田 和美 武田 亘明 張 浦華 並木 翔太郎 檜山 明子 石田 勝也 福田 大年 松永 康佑 岡 園代 黒田 紀子 田仲 里江 矢野 祐美子 加藤 秀樹	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部講師 事務局地域連携課長
	図書館	◎川村 三希子 松井 美穂 片山 めぐみ 金 秀敬 加藤 依子 藤井 瑞恵 松永 康佑 栗原 知己 加藤 秀樹	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長
	教育支援プロジェクトセンター	◎松浦 和代 佐藤 ひとみ 樋之津 淳子 成澤 元宏	副学長 兼 看護学部長 看護学部教授 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	アドミッションセンター	◎松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 柿山 浩一郎 藤木 淳 喜多 歳子 横溝 賢 金子 晋也 丸山 洋平 菅原 美樹 工藤 京子 山本 真由美 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
	情報基盤センター	佐藤 ひとみ 本田 光 ◎大淵 一博 吉田 彩乃 伊関 洋	看護学部教授 看護学部准教授 情報基盤センター長 デザイン学部助教 総務課長	
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 ◎石井 雅博 菊地 ひろみ 川村 三希子 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 看護学研究科長 附属図書館長 事務局長
		教員評価委員会	◎松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 高橋 尚人 樋之津 淳子 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 AITセンター長 看護学部教授 事務局長
		総務委員会	若林 尚樹 武田 亘明 佐藤 ひとみ 大淵 一博 村松 真澄 石引 かずみ ◎小野 聡	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 看護学部教授 情報基盤センター長 看護学部准教授 看護学部講師 事務局長
		FD委員会	◎細谷 多聞 小宮 加容子 張 浦華 貝谷 敏子 定廣 和香子 鬼塚 美玲 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部教授 看護学部教授 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎川村 三希子 細谷 多聞 森 朋子 矢久保 空遥 高橋 奈美 三戸部 純子 市戸 優人 加藤 秀樹	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部助教 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長
		看護学部卒業研究部会	原井 美佳 武富 貴久子 平山 憲吾	看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
連絡調整会議	学部間 教務・学生連絡会議	松浦 和代 ◎椎野 亜紀夫 柿山 浩一郎 藤木 淳 松井 美穂 貝谷 敏子 喜多 歳子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	研究科間 研究科教務・学生連絡会議	齊藤 雅也 ◎菊地 ひろみ 三谷 篤史 荒木 奈緒 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン研究科長 看護学研究科長 デザイン学部教授 助産学専攻科長 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
衛生委員会	芸術の森事業所衛生委員会	森 朋子 ◎成澤 元宏 安藤 貴之 山田 しおり	デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局総務課庶務係員 事務局総務課庶務係員
	桑園事業所衛生委員会	三戸部 純子 近藤 圭子 ◎成澤 元宏 松本 佳代	看護学部講師 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 桑園事務室学生支援係員
学部委員会	デザイン学部 教務委員会	◎藤木 淳 小林 重人 金 秀敬 並木 翔太郎 森 朋子 大淵 一博 須之内 元洋 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 情報基盤センター長 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	デザイン学部 学生支援委員会	◎柿山 浩一郎 松井 美穂 小宮 加容子 張 浦華 石田 勝也 福田 大年 坪内 健	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	デザイン学部 キャリア支援委員会	◎西川 忠 若林 尚樹 片山 めぐみ 山田 信博 松永 康佑 吉田 彩乃	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	看護学部	教務委員会	◎貝谷 敏子 看護学部教授 加藤 依子 看護学部准教授 菅原 美樹 看護学部准教授 原井 美佳 看護学部准教授 本田 光 看護学部准教授 伊東 健太郎 看護学部講師 岡 園代 看護学部講師 工藤 京子 看護学部講師 黒田 紀子 看護学部講師 武富 貴久子 看護学部講師 矢野 祐美子 看護学部講師 齋 若奈 看護学部助教 坂本 結城 看護学部助教 平山 憲吾 看護学部助教 高橋 葉子 看護学部助手
		学生支援委員会	◎喜多 歳子 看護学部教授 藤井 瑞恵 看護学部准教授 村松 真澄 看護学部准教授 守村 洋 看護学部准教授 石引 かずみ 看護学部講師 鬼塚 美玲 看護学部講師 牧田 靖子 看護学部講師 市戸 優人 看護学部助教 久保田 祥子 看護学部助教 吉田 実和 看護学部助教 山出 誓子 看護学部特任講師
		キャリア支援委員会	◎樋之津 淳子 看護学部教授 小田 和美 看護学部教授 檜山 明子 看護学部准教授 山本 真由美 看護学部講師 大友 舞 看護学部助教 栗原 知己 看護学部助教 田仲 里江 看護学部助教 渋谷 友紀 看護学部助教 中田 亜由美 看護学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
研究科委員会	デザイン研究科 教務・学生支援委員会	安 齋 利典	デザイン学部教授
		◎三谷 篤史	デザイン学部教授
	大島 卓	デザイン学部准教授	
	森 朋子	デザイン学部准教授	
		山田 信博	デザイン学部准教授
		横溝 賢	デザイン学部准教授
	研究科倫理審査会	◎安 齋 利典	デザイン学部教授
		小宮 加容子	デザイン学部准教授
		丸山 洋平	デザイン学部准教授
		成澤 元宏	事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
看護学研究科	教務・学生支援委員会	◎荒木 奈緒	助産学専攻科長
		定廣 和香子	看護学部教授
		原井 美佳	看護学部准教授
			守村 洋
	研究科倫理審査会	◎喜多 歳子	看護学部教授
		高橋 奈美	看護学部准教授
		藤井 瑞恵	看護学部准教授
		成澤 元宏	事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長

◎印：所管部局長等

17 FD・SD活動

FD活動 年間活動概要（学内研修会）

（単位：名）

全学FD	研修会名	参加者数
6月29日	点検評価ポートフォリオの作成を通じた自己点検・評価	62
7月6日	SCU将来計画2022	87
7月20日	本学の情報セキュリティポリシーについて	104
8月23日	2022年度札幌市立大学研究交流会	72
9月15日	私たちはどう学んでいるのか	36
9月21日	いつもと違うと感じた学生への対応	72
2月28日	“倫理的”に研究を遂行するとは～倫理指針・ガイダンスの改正ポイントの理解～	57
3月6日	学生をマインド・コントロールから守るために	53
3月6日	2022年度 DX_WG年次報告について	62
3月15日	新WEBサイトの方針と教職員による情報発信の方法について	70



(単位：名)

デザイン学部・ 研究科FD	研修会名	参加者数
9月21日	デザイン総合実習における学びの設計と現状	36
12月21日	札幌市立大学デザイン学部における大学教職員としての学生相談・サポートの 範囲～デザイン学部のメンター制度改革に向けて～	51
2月28日	発達障害の基礎と学習支援について	33

(単位：名)

看護学部・ 研究科FD	研修会名	参加者数
9月21日	模擬患者参加型演習・OSCEにおける教員の役割	45
1月31日	リアリティのある演技とお互いに成長できるフィードバックとは	51
3月14日	精神疾患を有する事例（シナリオ）の理解	27



SD活動 年間活動概要

(単位：名)

日付	研修名	形態	受講者数
通年	障害者差別解消法に関する研修	札幌市立大学	101
2022年4月1日	新採用向けシステム説明会	札幌市立大学	5
4月12日	採用者レク（経営企画、桑園）	札幌市立大学	1
4月13日	採用者レク（学生、地域連携）	札幌市立大学	1
4月14日	採用者レク（総務）	札幌市立大学	1
5月10日	公立大学に関する基礎研修	学外	4
5月20日	令和4年度公立大学の研究活動促進に資するための勉強会	学外	2
5月26日	公立大学の研究活動促進に資するための研修会（第1回）	学外	2
5月29日	2022年度新人・若手層職員向けオンラインワークショップ	学外	1
6月11日	教務系職員初任者向け講習会	学外	2
6月15日	公立大学の研究活動促進に資するための研修会（第2回）	学外	2
6月24日	公立大学法人における個人情報保護法改正に伴う実務者勉強会	学外	2
7月6日	SCU将来計画2022	札幌市立大学	20
7月7日	アドバンスセミナー「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドラインに係る説明会」	学外	2
7月13日	公立大学の研究活動促進に資するための研修会（第3回）	学外	2
7月15日	教学マネジメントに関するセミナー	学外	1
7月20日	本学の情報セキュリティポリシーについて	札幌市立大学	66
7月25日	リスク意識向上講座	学外	1
7月27日	アドバンスセミナー（第2回）～海外からの研究者招聘編～	学外	1
8月2日	バワハラを恐れない部下育成方法	学外	1
8月17日	分かりやすい説明の仕方研修	学外	1
8月20日	公立大学職員セミナー	学外	1
8月25日	押さえておきたい『インボイス制度』の勘所	学外	1
8月26日	ロジカルシンキング研修	学外	2
9月6日	ビジネス文書研修	学外	1
9月13日	経理担当者研修（基礎編）	学外	1
9月16日	令和4年度公立大学法人会計セミナー	学外	4
9月21日	いつもと違うと感じた学生の対応について	札幌市立大学	15
10月11日	Tutorial English	学外	1
10月13日	交渉力向上研修～ネゴシエーションスキルを上達させる	学外	1
10月22日	教務系事務部門リーダー講習会	学外	1
11月9日	ビジネス文書研修	学外	1
11月14日	入札談合防止に関する調達担当者研修会	学外	1
11月25日	ロジカルシンキングセミナー	学外	2